

ファイナンスのための数理ワークショップ

<http://sites.google.com/site/wsmathfinance>

タイトル：リスク鋭感的価値尺度 (*Risk-Sensitive Value Measure*) による価値評価法 とその応用

宮原 孝夫 (名古屋市立大学大学院経済学研究科教授)

- 4月23日 (金) 11:00 - 12:00
- 場所：早稲田大学理工学部 55号館1F 第一会議室
- 概要：効率的な市場の存在を前提と出来ない (非完備、無裁定条件の非成立、など) 場合におけるリスクと価値の評価の問題が重要になってきている。この場合には従来の数理ファイナンスの標準的な理論 (無裁定条件の成立を前提とした裁定理論) に基づく評価法だけでは対応できず、リスク尺度 (risk measure)、効用無差別価格 (utility indifference price)、マネタリ凹型効用関数 (manetary concave utility function)、リアルオプション (real option)、などの議論がなされている。それらの議論の成果を踏まえつつ、プロジェクトの価値評価として最も適切な価値評価法は何か、を検討する。その結果として、リスク鋭感的価値尺度 (*Risk-Sensitive Value Measure*) とリアルオプション・アプローチを組み合わせた価値評価法が最も優れていると言えることを主張する。さらに、この評価法の種々の分野への応用の可能性についても述べたい。

タイトル:時系列モデルにおける経験尤度を用いた変化点推定とその応用

玉置健一郎 (早稲田大学 政治経済学部)

- 5月28日 (金) 11:00 - 12:00
- 場所：早稲田大学理工学部 63号館4F 63-4-05
- 概要：一般的に、長期間にわたって時系列データに同じ構造が観測されると考えるのは現実に即していない。例えば株価を考えると、経済構造や信用力の変化により、データの構造が大きく変化することが考えられる。今回は、経験尤度という非母数的な手法を用いて、時系列データの変化点を推定する方法を提案する。その応用として、倒産企業の株価データの変化点を推定する。